

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名(株式会社 和光電子)

SDGs達成に向けた具体的な取組 (要件2) 【R5.9.5変更】

カテゴリー	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
人権・労働	<input type="checkbox"/>	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	雇用条件で差別のない体制のもと、経営トップが積極的に推進。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8	10.2 10.3						16.1 16.2 16.7		
	<input type="checkbox"/>	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	全社員へ教育の実施、相談窓口を設置して、あらゆるハラスメント禁止に努めております。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8							16.1		
	<input type="checkbox"/>	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	就業規則(時間外労働協定の範囲内)内容を共有するとともに定時退社を経営者含め率先している。									8.5 8.8								
	<input type="checkbox"/>	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	過去に於ける人材派遣労働者で差別、人権侵害がないことを確認している。又、今後に於いても同様に対応できる。				4.4					8.7 8.8	10.2 10.3							
	<input type="checkbox"/>	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	安全衛生実施計画(毎年度)に基づき、従業員の士気高揚に努めている。安全衛生委員会・安全衛生ハトール巡回(毎月)、ポスター掲示(2回/年)							3			8							
	<input type="checkbox"/>	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	ストレスチェックの実施しており、相談窓口も設置して対策に取り組んでいます。								3									
	<input type="checkbox"/>	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	多様な人材が活躍できる環境整備に努めている。					5.1 5.5				8.5	10.2 10.3							
	<input type="checkbox"/>	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	年間教育訓練計画表に基づき各階層別一般・専門教育を実施運用している。				4	5.5				8	9							
	<input type="checkbox"/>	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	職能級整備も含め、同一労働同一賃金の原則に沿った体制の整備・対応					5.5				8.5	10.2 10.3							
	<input type="checkbox"/>	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	血圧測定器・マッサージ器等、健康器具を設置し有効活用に取り組んでいる。								3		8							
環境	<input type="checkbox"/>	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	廃棄物の種類・量などマニフェスト含め現状処理状況を把握している。ISO14001認証取得しているのが第3者からも確認してもらっております。										11.6	12		14.1				
	<input type="checkbox"/>	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	工場の電力及び運搬・輸送燃料の使用量削減によるCO2削減に取り組み、排出量を把握している(2015年度以降)。								7.3				13					
	<input type="checkbox"/>	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	算定ツール等を利用してエネルギー量と温室効果ガスの排出量を把握、抑制に取り組んでいる。								7.2 7.3			12.4	13.3					
	<input type="checkbox"/>	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	法令で規制されている有害物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用にとりくんでいる。			3.9			6.3				11.6	12.4						

カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																	
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
環境	<input type="checkbox"/>	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	鉛フリー化対応等、環境に配慮した製品・サービスの提供を通じて生物多様性保全に配慮している。						6.6								15				
	<input type="checkbox"/>	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	プラスチックトレー及びリール等の容器のリユース及びダンボールのリサイクルに取り組んでいる。										13		14.1						
	<input type="checkbox"/>	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	夏季期間、屋根の散水に井水を利用している。						6.4 6.6												
	<input type="checkbox"/>	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	ISO14001認証取得しております。環境負荷・温室効果ガス換算値把握は2015年度以降継続実施中。			3.9			6	7				12	13.3	14	15				
	<input type="checkbox"/>	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	ホームページ等で情報を開示しております。											12.6							
	<input type="checkbox"/>	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	社有車のハイブリッド車の導入を検討している。							7.2					13						
	<input type="checkbox"/>	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	部品調達は紛争鉱物やRoHSの不使用を調査し調達している。											12.2	13	14	15				
公正な事業慣行	<input type="checkbox"/>	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	就業規則の服務規律で汚職・贈収賄の禁止を社員に周知している。															16 16.5			
	<input type="checkbox"/>	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	弊社の経営方針「健全経営を貫き、たくましい活力と柔軟な発想で時代の変化に対応できる強い企業体質を構築し、明るく働き甲斐のある職場づくりを目指す」で周知している。																16		
	<input type="checkbox"/>	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	特許等知的財産権の取得、管理している。									8.2 8.3	9								
	<input type="checkbox"/>	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	社内会議での指示連絡事項で周知している。																	16	
	<input type="checkbox"/>	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	部品調達に於いて紛争鉱物の不使用を調査し購入している。																	16	
	<input type="checkbox"/>	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	取引先との対話や要求事項対応を通じて認識を共有している。					5					8		10		12	13	14	15	16
<input type="checkbox"/>	【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5～追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本	【予定】パートナーシップ構築宣言を今後作成・公表していく予定です。			3							8	9	10							17

※「パートナーシップ構築宣言」の作成・公表方法はこちら。<https://www.biz-partnership.jp/>

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
- ・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANONものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は**黒字**、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、**赤字**で番号を記載
- 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
 ※1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定